

2026 年度
音樂科專門試驗要項

学校推薦型選抜（公募制・指定校）



宮城学院女子大学

音楽科専門試験要項

学校推薦型選抜 試験科目一覧

		専攻実技	
器楽コース	ピアノ	Pf	
	オルガン	Org	
	弦楽器	ヴァイオリン・ヴィオラ	VnVa
		チェロ	Vc
		コントラバス	Cb
	管楽器	フルート	Fl
		オーボエ	Ob
		クラリネット	Cl
		サクソフォーン	Sax
		ファゴット	Fg
		ホルン	Hr
		トランペット	Trp
		トロンボーン	Tbn
		ユーフォニアム	Euph
	チューバ	Tuba	
	打楽器	Perc	
声乐コース	Vo		
作曲コース	Comp		

すべての専攻において、志望動機等を確認する面接を行います。(10分程度)

注意事項

※願書提出時の注意

1. 曲目届出票に必要な事項を記入し提出すること。
2. 演奏するすべての曲(音階を除く)に関して、演奏する曲全体の楽譜のコピーを添付すること。ただし、Pfについては、コピーは楽譜冒頭1ページのみでよい。
Cl、Hr、Trp、Tuba、Percの⑧については、楽譜のコピーを提出する必要はない。
印刷が明瞭であれば、コピーのサイズ等は自由でよい(製本の必要はない)。氏名は記入しないこと。
3. 声乐コースに出願する場合は、伴奏用楽譜を添付すること。1ページのサイズをA4版とし、所定の方法(P.8参照)にしたがって製本すること。氏名は記入しないこと。
4. 作曲コースの⑧または⑨に出願する場合は、所定の方法(P.8参照)にしたがって自作曲の楽譜、または音源を提出すること。

※受験上の注意

- オルガン専攻をパイプオルガンで受験する場合、本学のパイプオルガンで練習することができる。
詳細については、出願受付後に連絡する。
- 弦楽器専攻、管楽器専攻を受験する場合、楽器を持参すること。
- 弦楽器専攻(コントラバス)を受験する場合、本学のコントラバスを使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 管楽器専攻(サクソフォーン)を受験する場合、アルトサクソフォーンで受験すること。
- 管楽器専攻(トロンボーン)を受験する場合、テナートロンボーンまたはバストロンボーンでの受験を可とする。
- 打楽器専攻を受験する場合、本学のマリンバを使用すること。
- 打楽器専攻を⑧で受験する場合、小太鼓を持参すること。スタンドは本学のものを使用できる。やむを得ない理由で小太鼓を持参できない場合、本学の小太鼓を使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 作曲コースを⑨で受験する場合、定規の使用を認める。

器楽コース

ピアノ専攻	
Pf	<p>(a) (b)いずれも暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。</p> <p>(a) 下記の練習曲集の中から1曲を選択し演奏すること。</p> <p>● Czerny : 50番練習曲 作品740 ● Clementi=Tausig : グラドス・アド・バルナッスム</p> <p>● Cramer=Bülow : 60の練習曲 ● Moszkowski : 15の練習曲 作品72</p> <p>● Chopin : 練習曲 作品10(ただしNo.3、No.6は除く)</p> <p>● Chopin : 練習曲 作品25(ただしNo.7は除く)</p> <p>(b) 下記の作曲家によるソナタの中から1曲を選択し、第1楽章または終楽章を演奏すること。</p> <p>● J.Haydn ● W.A.Mozart</p> <p>● L.v.Beethoven(ただし、作品49の1と2、および作品101以降のものは除く)</p>
オルガン専攻	
Org	<p>①②のいずれかを選択し、受験すること。</p> <p>①パイプオルガンで受験する場合</p> <p>17～18世紀の作曲家のオルガン作品から、次の(a) (b)の各1曲を選択し、演奏すること。</p> <p>(a) コラール作品 : 1曲 (b) コラール以外の作品 : 1曲</p> <p>暗譜の必要はない。また、手鍵盤のみの作品でもよい。</p> <p>コラールは繰り返しをし、(a) (b)2曲合わせて10分程度の演奏とすること。</p> <p>②ピアノで受験する場合</p> <p>J.S.Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より1曲を選択し、プレリュード、フーガの両方を暗譜で演奏すること。</p>
弦楽器〔ヴァイオリン・ヴィオラ〕専攻	
VnVa	<p>ヴァイオリン専攻</p> <p>(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>(a) 下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階と分散和音(スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする)。</p> <p>(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。</p> <p>複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。</p>
	<p>ヴィオラ専攻</p> <p>(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>ヴィオラ専攻受験者はヴァイオリンでの受験も可。その場合は、ヴァイオリン専攻の課題曲(a) (b)を演奏すること。</p> <p>(a) 下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階(スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする)。</p> <p>(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。</p> <p>複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。</p>
弦楽器〔チェロ〕専攻	
Vc	<p>演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。</p> <p>複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜で演奏すること。繰り返しは省略すること。</p>

弦楽器〔コントラバス〕専攻

Cb	(a) (b)いずれも暗譜のうえ、無伴奏で演奏すること。 (a)ト長調で2オクターヴの音階を以下の譜例の形で演奏すること(暗譜で演奏すること)。
	
	(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。

管楽器〔フルート〕専攻

Fl	(a) (b)を演奏すること。 (a)以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。 短調は和声的短音階で演奏すること。
	
	(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔オーボエ〕専攻

Ob	(a) (b)を演奏すること。 (a)2オクターヴの音階(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。短調は和声的短音階、旋律的短音階のどちらを演奏してもよい。 音域が高い場合は途中で折り返してもよい。
	(b)W.Ferling : 48 Übungen für Oboe Op.31 のNo.1からNo.12より任意の1曲を選択し、演奏すること。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔クラリネット〕専攻

Cl	(a) (b)を演奏すること。 (a)Rolf Eichler : Scales for Clarinet 第1番(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。
	(b)Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-Dur Op.26 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。 当日に演奏する箇所を指定することがある。

管楽器〔サクソフォーン〕専攻

Sax	(a) (b)を演奏すること。 (a)須川展也編「サクソフォーンのためのトレーニングブック」(音楽之友社)の51~52ページより、音階(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。 短調は和声的短音階で演奏すること。繰り返しは省略すること。
	(b)W.Ferling : 48 Etudes (Leduc版)より、任意の奇数番号1曲と、任意の偶数番号1曲を選択し、演奏すること。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔ファゴット〕専攻

Fg	<p>(a) (b)を演奏すること。</p> <p>(a)以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。短調は和声的短音階、旋律的短音階のどちらを演奏してもよい。 〔譜例(F-Durの場合)〕</p> <p style="text-align: center;">Moderato</p>  <p>(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。</p>
----	--

管楽器〔ホルン〕専攻

Hr	<p>(a) (b)を演奏すること。</p> <p>(a)以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長調 As-Dur、A-Dur、B-Dur、C-Dur の中より、当日指定する。 短調 a-Moll、b-Moll、h-Moll、c-Moll の中より、当日指定する。 短調は和声的短音階、旋律的短音階より、当日指定する。 〔譜例(実音B-Durの場合)〕</p> <p style="text-align: center;">♩=60~80</p>  <p>(b)W.A.Mozart : Horn Concerto No.3 K447より第1楽章 カデンツァはなし。版の指定はない。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。 当日に演奏箇所を指定する。</p>
----	--

管楽器〔トランペット〕専攻

Trp	<p>(a) (b)を演奏すること。</p> <p>(a)以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。 F-Dur と d-Moll、B-Dur と g-Moll、Es-Dur と c-Moll の中より、当日指定する。 短調は和声的短音階、旋律的短音階より、当日指定する。 音域が高い場合は途中で折り返してもよい。 〔譜例(実音B-Durの場合)〕</p> <p style="text-align: center;">Moderato</p>  <p>(b)J.B.Arban : Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet 所収 12の幻想曲とアリア No.3 Fantaisie Brillanteより主題と変奏曲 I・II 序奏はなし。版の指定はない。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。</p>
-----	---

管楽器〔トロンボーン〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

- (a)以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
 長調 B-Dur、A-Dur、G-Dur、F-Dur の中より、当日指定する。
 短調 g-Moll、f-Moll の中より、当日指定する。
 短調は旋律的短音階で演奏すること。
 音域が高い場合は途中で折り返してもよい。
 [譜例(B-Durの場合)]

Tbn

♩=60

- (b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ユーフォニアム〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

- (a)以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
 F-Durとd-Moll、B-Durとg-Moll、Es-Durとc-Moll、As-Durとf-Moll、C-Durとa-Moll、
 G-Durとe-Moll の中より、当日指定する。
 短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。
 [譜例(F-Durの場合)]

Euph

♩=60

- (b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。
 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。
 あるいはJoannes Rochut : Melodious Etudes for Trombone Book I
 (Carl Fischer 版)のNo.1からNo.10より任意の1曲。
 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔チューバ〕専攻

Tuba	<p>(a) (b) (c)を演奏すること。</p> <p>(a)以下の譜例を参考にして音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。 調号# ♭共に3つまでの調より、当日指定する。 短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。 音域が高い場合は途中で折り返してもよい。 〔譜例(F-Durの場合)〕</p> <p style="text-align: center;">♩=70</p>  <p>(b)M.Bordogni : 43 Bel Canto StudiesのNo.1、No.4より、当日1曲指定する。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。</p> <p>(c)V.Blazhevich : 70 Etudes Vol. I のNo.6、No.8より、当日1曲指定する。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。</p>
------	--

打楽器専攻

Perc	<p>①②のいずれかを選択し、受験すること。</p> <p>①マリンバのみで受験する場合</p> <p>(a) (b)を演奏すること。</p> <p>(a)調号# ♭2つまでの長音階、および短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること(暗譜で演奏すること)。音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。</p> <p>(b)演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。</p> <p>②小太鼓とマリンバを用いて受験する場合</p> <p>(a) (b) (c)を演奏すること。</p> <p>(a)小太鼓による1つ打ち・2つ打ち・ロール <i>pp</i> < <i>ff</i> > <i>pp</i></p> <p>(b)小太鼓 C.Wilcoxon : The All American Drummer 150 Rudimental Solos(Ludwig Music版)のNo.1およびNo.4を演奏すること。暗譜の必要はない。</p> <p>(c)マリンバによる音階 調号# ♭2つまでの長音階、および短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること(暗譜で演奏すること)。音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。</p>
------	---

声乐コース

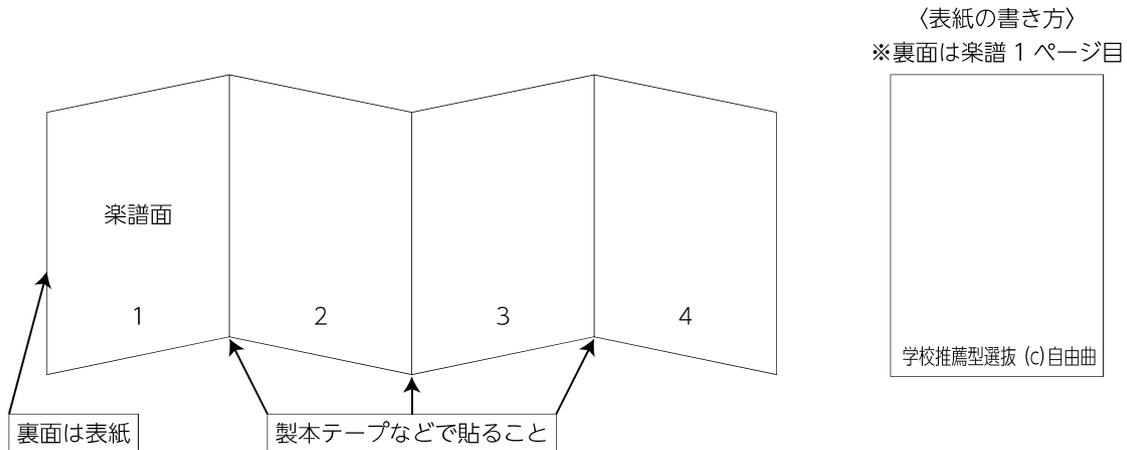
Vo	<p>(a) (b) (c)いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>(a)コンコーネ：1曲 コンコーネ50番の11番から30番までの20曲の中から、1曲を選択し、母音「ア」で歌うこと。 出願時に曲番号、および「高声用」「中声用」「低声用」のいずれを歌うかを届け出ること。</p> <hr/> <p>(b)選択課題曲 下記の20曲の中から1曲を選択し、原語で歌うこと。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>● V. Bellini : Vaga luna, che inargenti</td> <td>● G. Bononcini : Deh, più a me non v'ascondete</td> </tr> <tr> <td>● G. Caccini : Tu ch'hai le penne, Amore</td> <td>● A. Caldara : Sebben, crudele</td> </tr> <tr> <td>● M. A. Cesti : Intorno all'idol mio</td> <td>● S. Donaudy : O del mio amato ben</td> </tr> <tr> <td>● F. Gasparini : Caro laccio</td> <td>● G. Giordani : Caro mio ben</td> </tr> <tr> <td>● Ch. W. Gluck : O del mio dolce ardor</td> <td>● G. F. Händel : Lascia ch'io pianga (ariaのみ)</td> </tr> <tr> <td>● G. Paisiello : Nel cor più non mi sento</td> <td>● S. Rosa* : Star vicino ※新説ではL. Mancia</td> </tr> <tr> <td>● A. Scarlatti : Sento nel core</td> <td>● F. P. Tosti : Sogno</td> </tr> <tr> <td>● J. Brahms : Wiegenlied</td> <td>● F. Schubert : An die Musik</td> </tr> <tr> <td>● R. Schumann : Die Lotosblume</td> <td>● 成田 為三 : 浜辺の歌(1,2番)</td> </tr> <tr> <td>● 信時 潔 : 北秋の「沙羅」より</td> <td>● 山田 耕筰 : かやの木山</td> </tr> </table> <hr/> <p>(c)自由曲：1曲 原語で歌うこと。課題曲リストより選択してもよい。ただし、(b)で選択した1曲と重複しないこと。</p>	● V. Bellini : Vaga luna, che inargenti	● G. Bononcini : Deh, più a me non v'ascondete	● G. Caccini : Tu ch'hai le penne, Amore	● A. Caldara : Sebben, crudele	● M. A. Cesti : Intorno all'idol mio	● S. Donaudy : O del mio amato ben	● F. Gasparini : Caro laccio	● G. Giordani : Caro mio ben	● Ch. W. Gluck : O del mio dolce ardor	● G. F. Händel : Lascia ch'io pianga (ariaのみ)	● G. Paisiello : Nel cor più non mi sento	● S. Rosa* : Star vicino ※新説ではL. Mancia	● A. Scarlatti : Sento nel core	● F. P. Tosti : Sogno	● J. Brahms : Wiegenlied	● F. Schubert : An die Musik	● R. Schumann : Die Lotosblume	● 成田 為三 : 浜辺の歌(1,2番)	● 信時 潔 : 北秋の「沙羅」より	● 山田 耕筰 : かやの木山
● V. Bellini : Vaga luna, che inargenti	● G. Bononcini : Deh, più a me non v'ascondete																				
● G. Caccini : Tu ch'hai le penne, Amore	● A. Caldara : Sebben, crudele																				
● M. A. Cesti : Intorno all'idol mio	● S. Donaudy : O del mio amato ben																				
● F. Gasparini : Caro laccio	● G. Giordani : Caro mio ben																				
● Ch. W. Gluck : O del mio dolce ardor	● G. F. Händel : Lascia ch'io pianga (ariaのみ)																				
● G. Paisiello : Nel cor più non mi sento	● S. Rosa* : Star vicino ※新説ではL. Mancia																				
● A. Scarlatti : Sento nel core	● F. P. Tosti : Sogno																				
● J. Brahms : Wiegenlied	● F. Schubert : An die Musik																				
● R. Schumann : Die Lotosblume	● 成田 為三 : 浜辺の歌(1,2番)																				
● 信時 潔 : 北秋の「沙羅」より	● 山田 耕筰 : かやの木山																				

作曲コース

Comp	<p>以下の①～③より一つを選択し、受験すること。</p> <p>①和声課題 転調を含まないバス課題1題。解答時間は60分。</p> <p>②作品提出 自作曲の楽譜を提出すること。 曲の長さは1分以上とする。 作品の形式・編成・ジャンルは自由とする。ただし、未発表のものに限る。</p> <p>③音源提出 自作曲を演奏した音源を提出すること。 曲の長さは1分以上とする。 作品の形式・編成・ジャンルは自由とする。ただし、未発表のものに限る。</p> <p>②または③で受験する場合、面接時に、提出された作品について、簡単な質疑応答を行う。</p>
------	---

声楽コースの伴奏用楽譜について

- ①楽譜は1ページのサイズをA4版とし、コピーの鮮明な楽譜を提出すること。
- ②伴奏者が演奏しやすいよう、1曲ごとに下記の図のように製本すること。
- ③提出する楽譜の1ページ目の裏面は表紙とし、氏名は記入せず、「学校推薦型選抜(c)自由曲」等と記入すること。



作曲コースの作品提出、音源提出について

- 作曲コースを⑧で受験する場合は、自作曲の楽譜を提出すること。
楽譜は鮮明な自筆、またはコンピュータ浄書で提出すること。
楽譜の表紙には曲名を記入すること。氏名は記入せず、「学校推薦型選抜 作曲コース 作品提出」と記入すること。
コピーし、製本した楽譜を提出すること。
提出された楽譜は返却しない。
- 作曲コースを⑨で受験する場合は、自作曲の音源を提出すること。
ファイル形式はmp3とし、USB、または、Audio CDで提出すること。
提出されたメディアは返却しない。